

TLPとは

- Traffic Light Protocol
- 右上と右下にあるやつ
- 書類・情報がどこまで広がって良いかを定義する
- シス管では初期の頃から使っているシステム
- 一般のConfidential表記と異なり、規格化されているため、
範囲がわかりやすい
- 色でも範囲がしっかり分かる

TLPの種別

CLEAR: 制限なし

- **GREEN:** コミュニティ内のみ
 - コミュニティとは、共通の目標、慣習、非公式な（正式ではない？）信頼関係を持つ集団
 - **AMBER:** 組織内とクライアントおよびその関係組織
 - **AMBER+STRICT:** 特定の組織内のみ
 - 組織とは、正式なメンバーシップによる共通の所属とポリシーによって結ばれた集団
 - **RED:** 受け取った人のみ（再配布は許されない）
-
- 信号機のように定義するのでTLP (Traffic Light Protocol)
 - 詳細はFIRSTの原文か、JPCERTの翻訳文を読んで
 - 各語の定義はJPCERTの翻訳文を簡単に部内向けに編集したものです

文章における提示方法

- 画面・書類上（できれば右上と右下）に
- 最低でも12pt以上で
- 下記の色指定に適合するように
 - CLEAR : 背景 #000000, 文字色 #FFFFFF
 - GREEN : 背景 #000000, 文字色 #33FF00
 - AMBER : 背景 #000000, 文字色 #FFC000
 - RED : 背景 #000000, 文字色 #FF2B2B
- 標示に余分なスペースや翻訳を入れずに提示する

TLPが適用された文章の例
FASTのTLP v2をJPCERTが翻訳したもの



Version 2.0

TLP: CLEAR

- f. 情報の発信者は、受信者が TLP 標示された情報を理解し、TLP 情報共有ガイダンスに従うことを確実にする責任を持つ。
- g. 情報の発信者は、追加の共有制限を自由に指定できる。受信者はその制限を遵守しなくてはならない。
- h. 情報の受信者は、当初の TLP 標示より広い範囲にその情報を共有する必要がある場合は、発信者の明示的な許可を得なければならない。

2. 利用方法

a. メッセージにおける TLP の利用 (電子メールやチャットなど)

TLP 標示されたメッセージは、情報の TLP 標示および追加の共有制限を、その情報自体の直前に示さなければならない。TLP 標示は電子メールの件名に書く必要がある。また、標示が適用される文字の終端を必要に応じて指定する。

b. 文書における TLP の利用

TLP 標示された文書は情報の TLP 標示および追加の共有制限を各ページのヘッダーとフッターに示さなければならない。ロービジョンのユーザーのために、TLP 標示は **12 ポイント** かそれ以上の大きさの文字にする必要がある。TLP 標示は右寄せで表記することを推奨する。

c. 自動化された情報交換システムにおける TLP の利用

自動化された情報交換システムにおける TLP の利用方法は定義されていない。これはシステム設計者に一任されるが、本標準に従わなければならない。

d. TLP のカラーコード (RGB、CMYK、Hex)

	RGB: font			RGB: background			CMYK: font				CMYK: background				Hex: font	Hex: background
	R	G	B	R	G	B	C	M	Y	K	C	M	Y	K		
TLP-RED	255	43	43	0	0	0	0	83	83	0	0	0	0	100	#FF2B2B	#000000
TLP-AMBER	255	192	0	0	0	0	0	25	100	0	0	0	0	100	#FFC000	#000000
TLP-GREEN	31	255	0	0	0	0	79	0	100	0	0	0	0	100	#33FF00	#000000
TLP-CLEAR	255	255	255	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	#FFFFFF	#000000

カラーコードに関する備考：文字と背景の色のコントラストが低いと、ロービジョンの人は文字を読むのに苦労するか、まったく見えないことがある。TLP はロービジョンの人に配慮した設計

TRAFFIC LIGHT PROTOCOL (TLP) - Version 2.0 (日本語訳)
https://www.first.org

2 of 4

TLP: CLEAR

チャットにおける提示方法

- 情報の先頭と終端に**TLP**の標示を記述する
- メールの場合、件名にも記述する
- 双方とも、標示に余分なスペースや翻訳を入れてはならない

注意点

- 送信先が必ず**TLP**を知っていることは事前に確認すること
 - **TLP**の種別ページかなんかを適当に送り付けると良い
- 受信者は**TLP**を順守すること
 - 当たり前のこと
- 受信者は**TLP**を破る際に、必ず送信者の許可を取ること
 - **TLP**は送信者が自由に変更できるため、許可さえ取れば大体**OK**